

女性の一生～婦人科の病気の話～

看護学校 授業内講演

山口レディースクリニック
院長 山口 幸俊

女性の心と体の中で
何が起こっているか？



女性ホルモンとは

- 卵巣から分泌されるエストロゲンとプロゲステロン(黄体ホルモン)
- エストロゲンは、まさに女性自身を創り、全身の多くの場所に作用

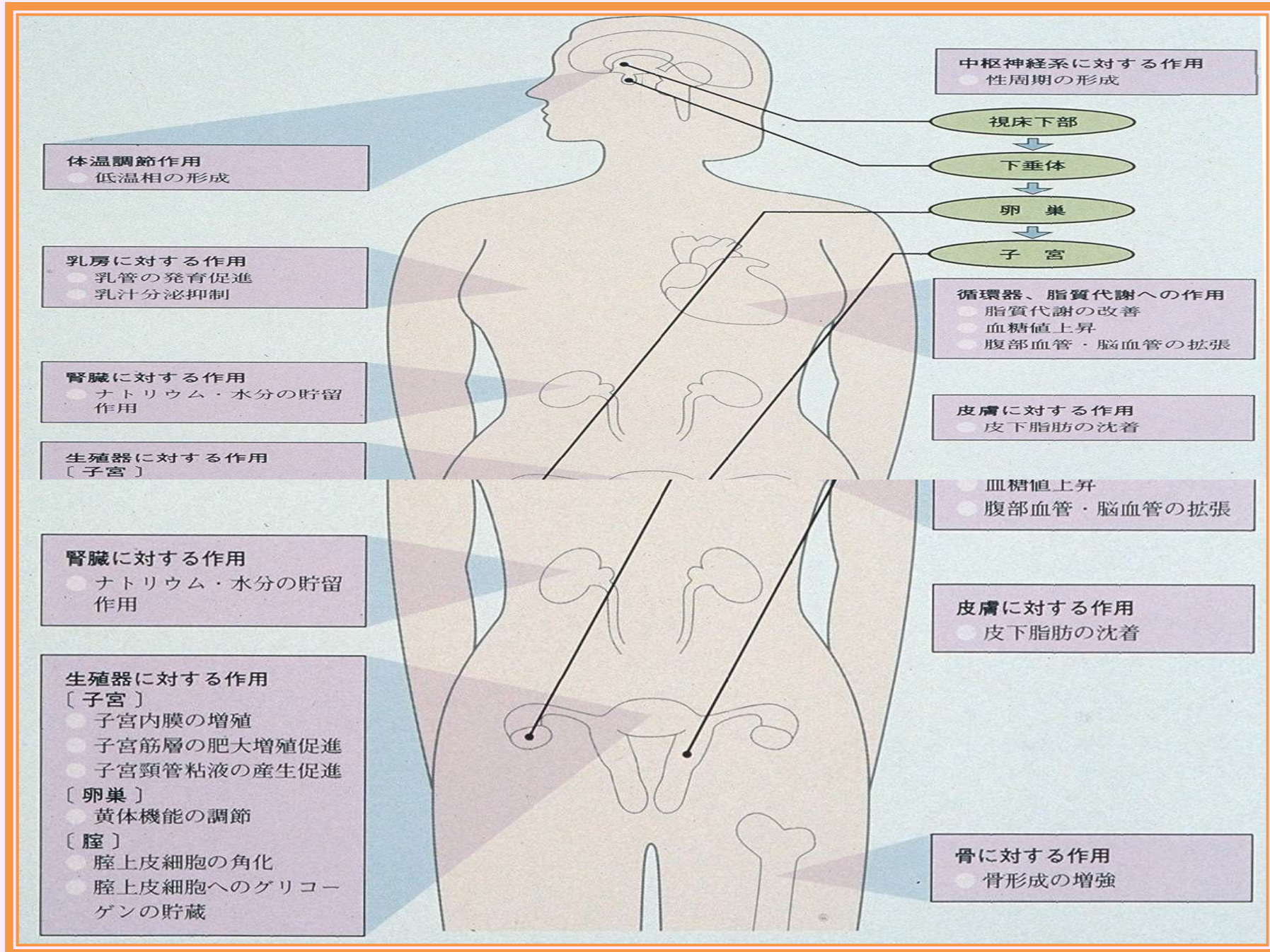
性器に対する作用

子宮筋・子宮内膜・子宮頸管・膣・乳房

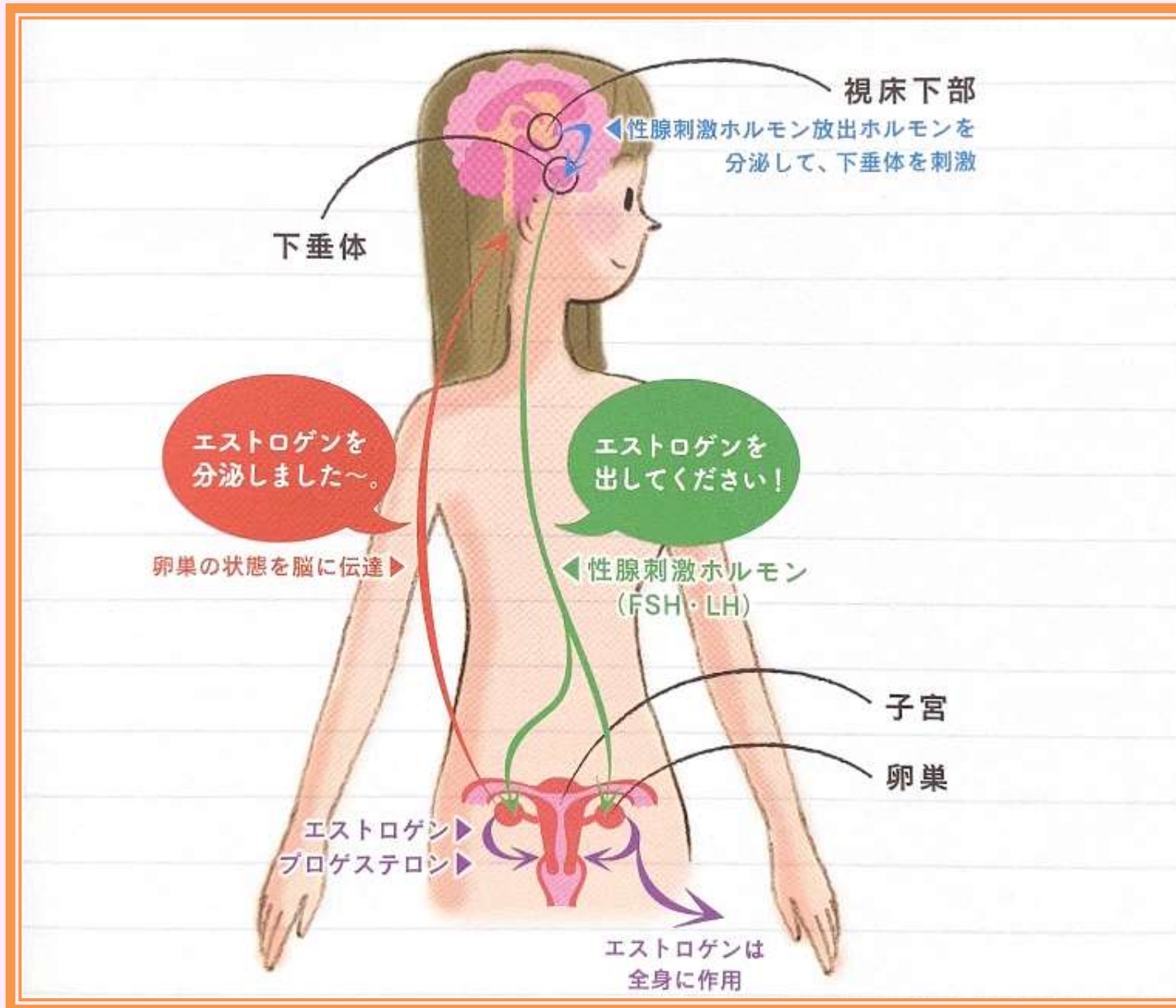
性器外に対する作用

視床下部・下垂体・動脈・肝臓・腎尿細管・骨・皮膚

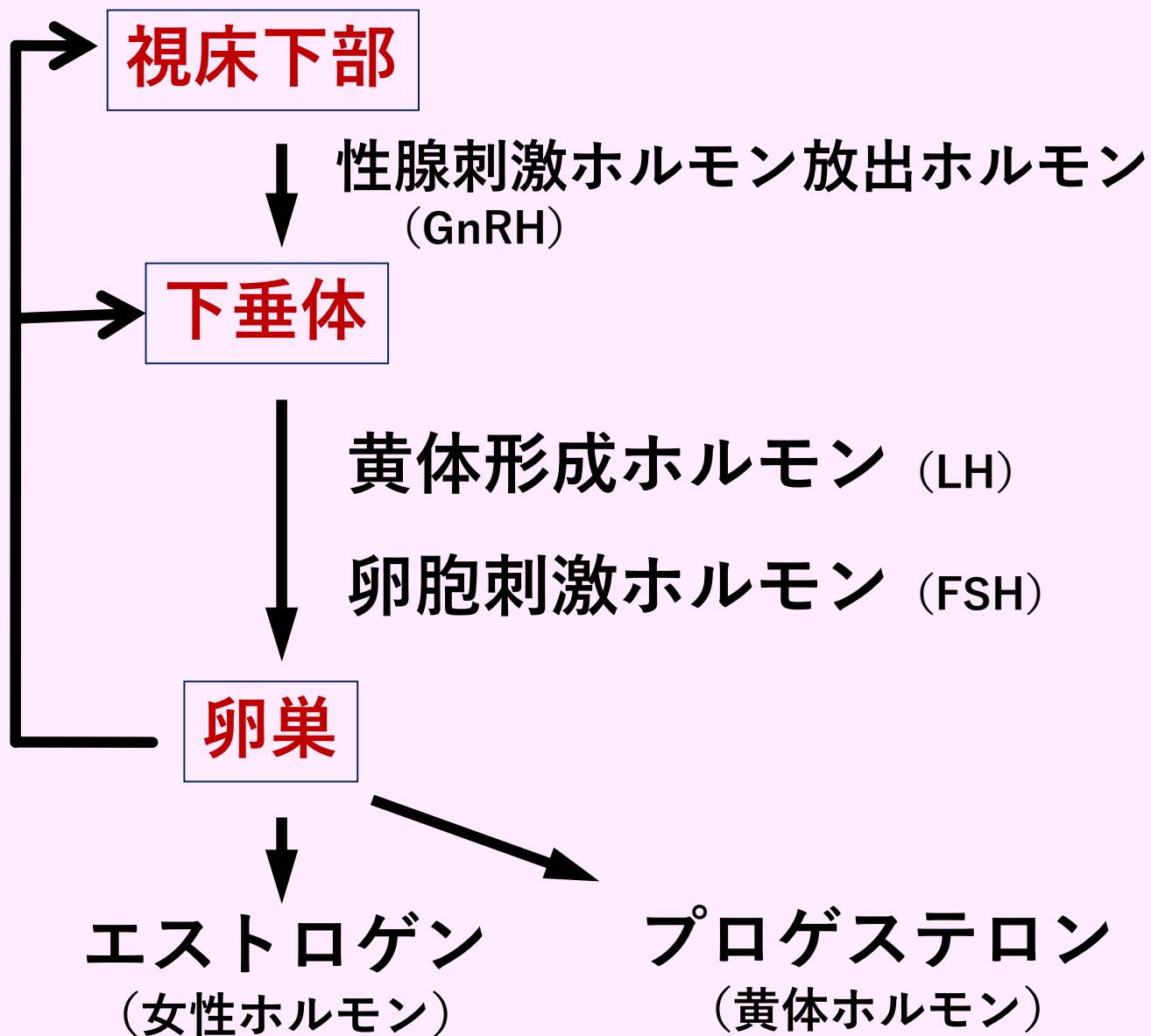
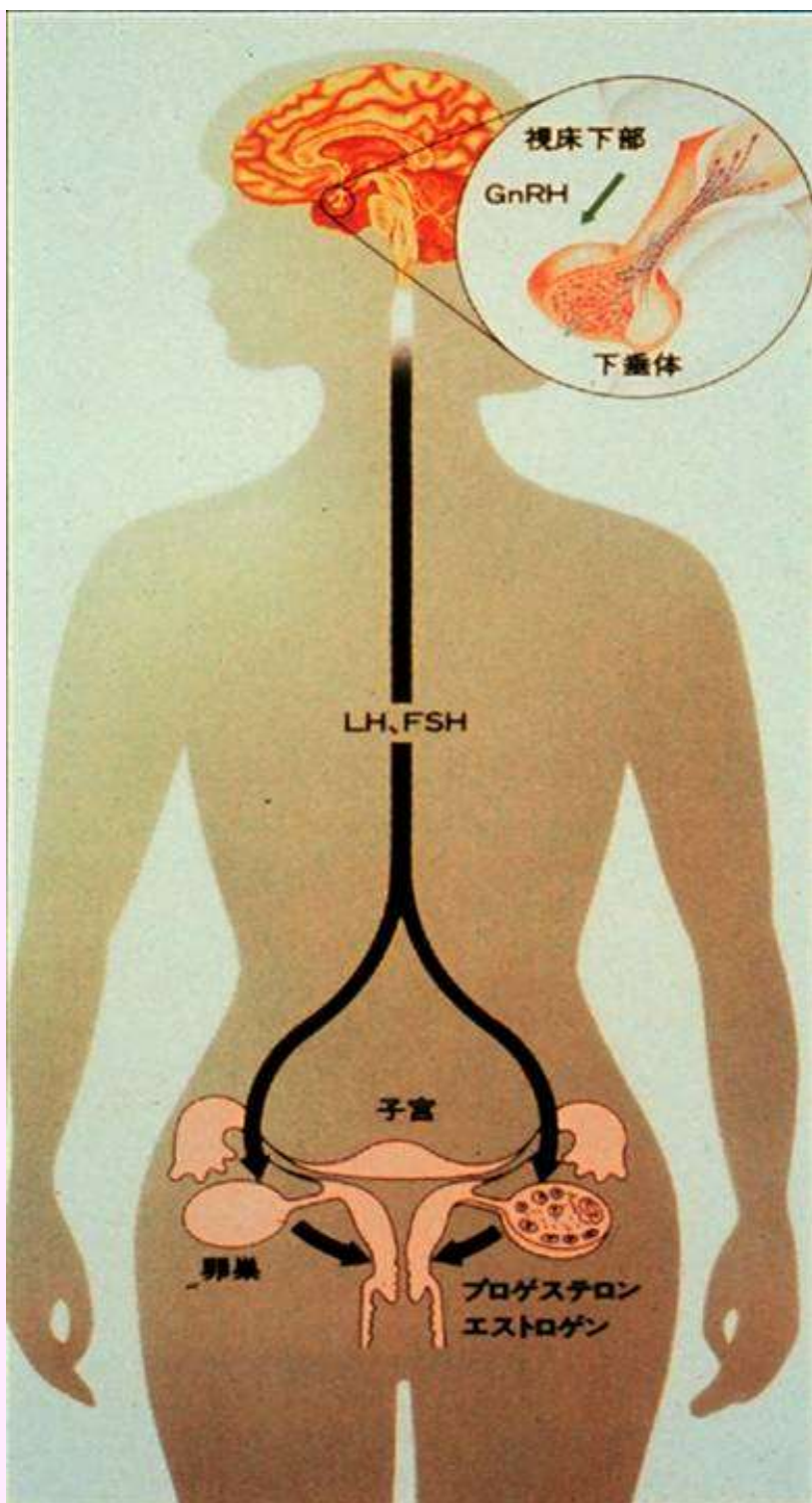
女性ホルモン(エストロゲン)の主な作用



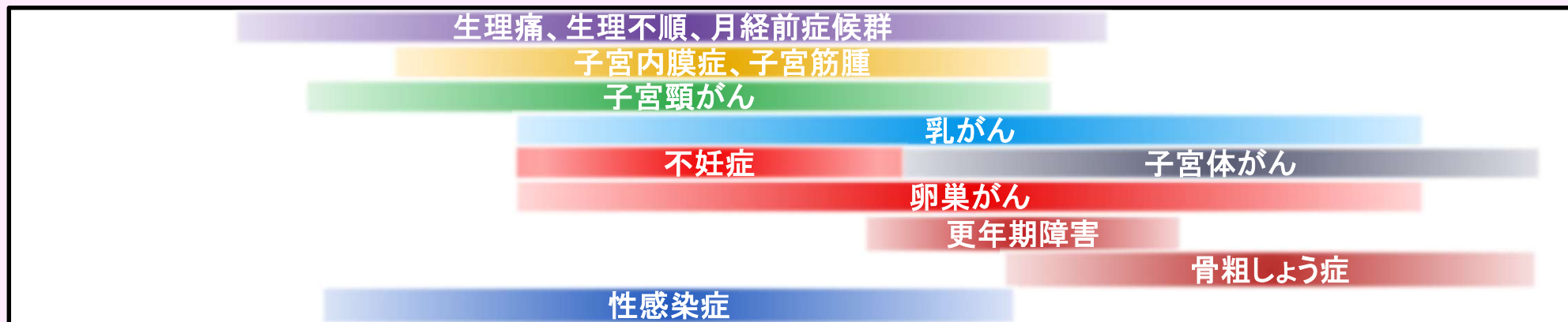
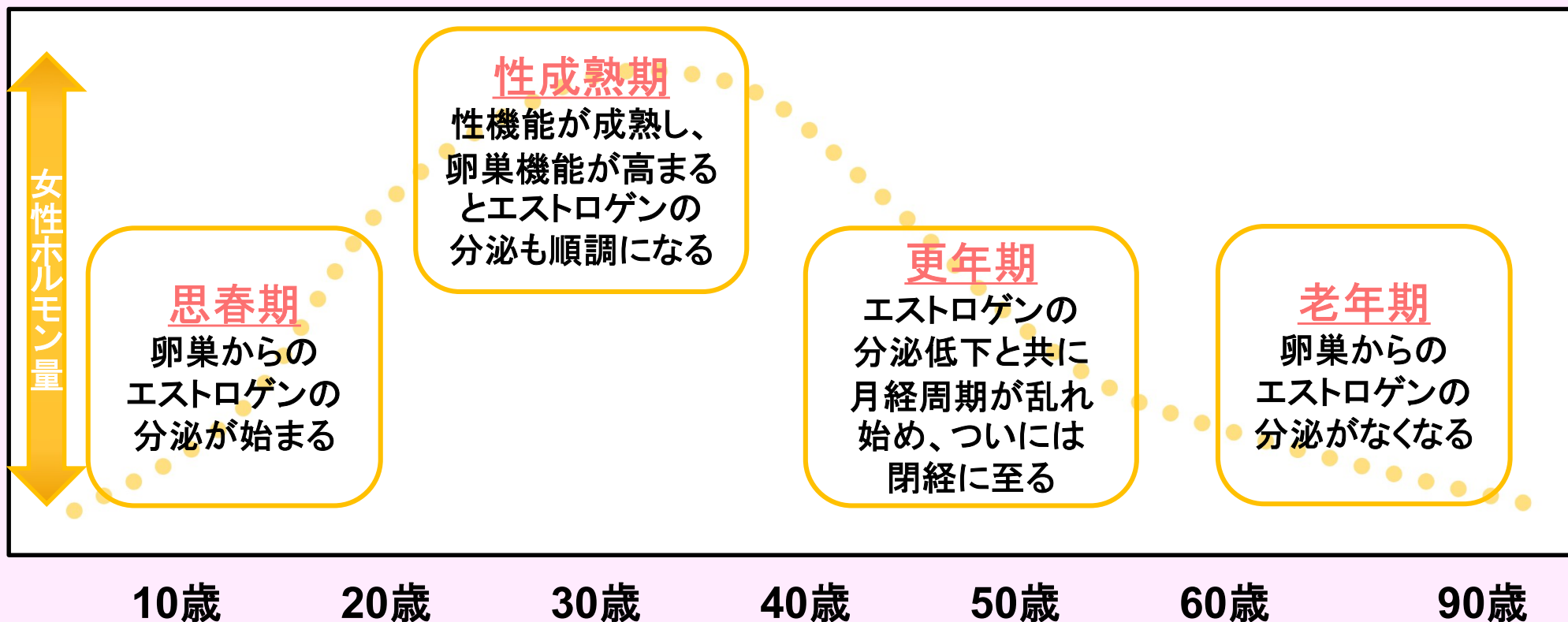
女性ホルモンのはたらきシステム



性腺機能とホルモンのはたらき



女性のライフステージに伴うトラブル



月経の回数について

昔の女性の月経の回数は
一生涯で**50回**



現代の女性は**450~500回**

初経12歳、閉経50歳→月経の存在年数38年

月経30日周期 456回

月経27日周期 494回

PMS(月経前症候群)の多種多様な症状

身体の症状

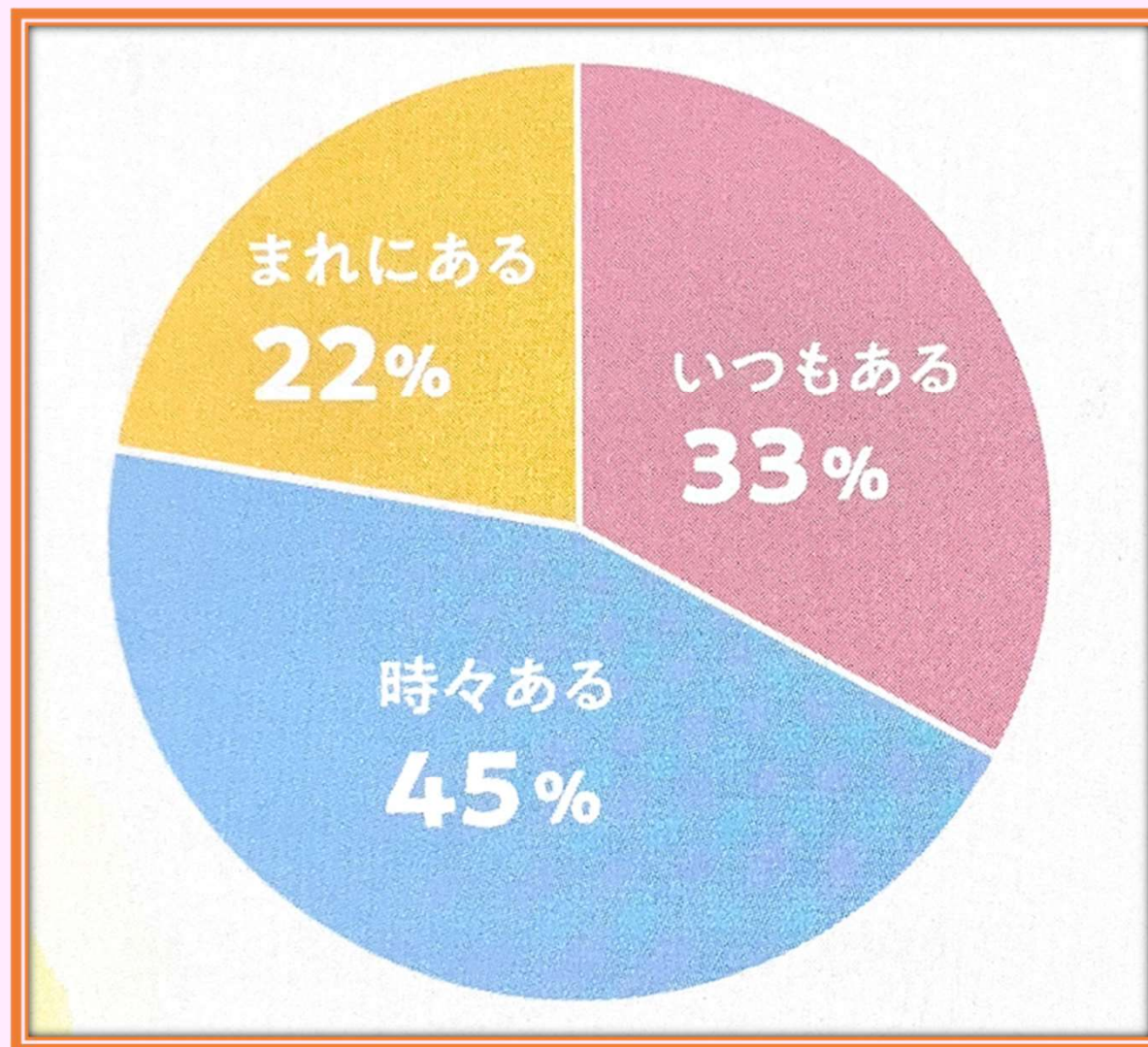
- ・ 下腹部が張る ・ だるい
- ・ 痛い ・ 重い ・ 眠い
- ・ 乳房が張る ・ 痛い ・ 肩こり
- ・ 頭が痛い ・ 重い ・ 手足が冷える
- ・ めまい ・ 食欲が減る ・ 増す
- ・ 肌荒れ ・ にきび ・ 便秘 ・ 下痢
- ・ むくみ ・ アレルギーが出る
- ・ 疲れやすい ・ おりものが出る

精神的な症状

- ・ イライラする ・ 興奮しやすい
- ・ 怒りっぽくなる ・ 悲しくなる
- ・ 無気力 ・ 緊張感
- ・ 憂うつ ・ 絶望感
- ・ 気分が落ち込む
- ・ 不安
- ・ 集中できない

PMDD (月経前不快気分障害)
強く激しい精神的な症状

74%の女性が悩むPMS



2021年 30~40歳女性 1000人

月経困難症が女性の就労に与える 社会経済学的影響

6カ月あたりの
疼痛による
労働損失日数

常勤職

0.40~1.44日

非常勤職

0.37~1.14日

専業主婦

1.01~1.89日

6カ月あたりの
労働過失金額

常勤・非常勤職

763億円

専業主婦

1,127億円

合計

1,890億円

月経痛の診断や治療
にかかる医薬品及び
医療コスト

5500億円／年

月経痛などによる休
業や仕事量の低下に
よる労働過失

3800億円／年

合計すると年間約1兆円の経済損失

月経に関連したい医学的な障害

月経と直接関連するもの

- ・ 月経困難症、月経前症候群、子宮内膜症、過多月経（鉄欠乏性貧血）

既存の慢性疾患で、月経時に悪化するもの

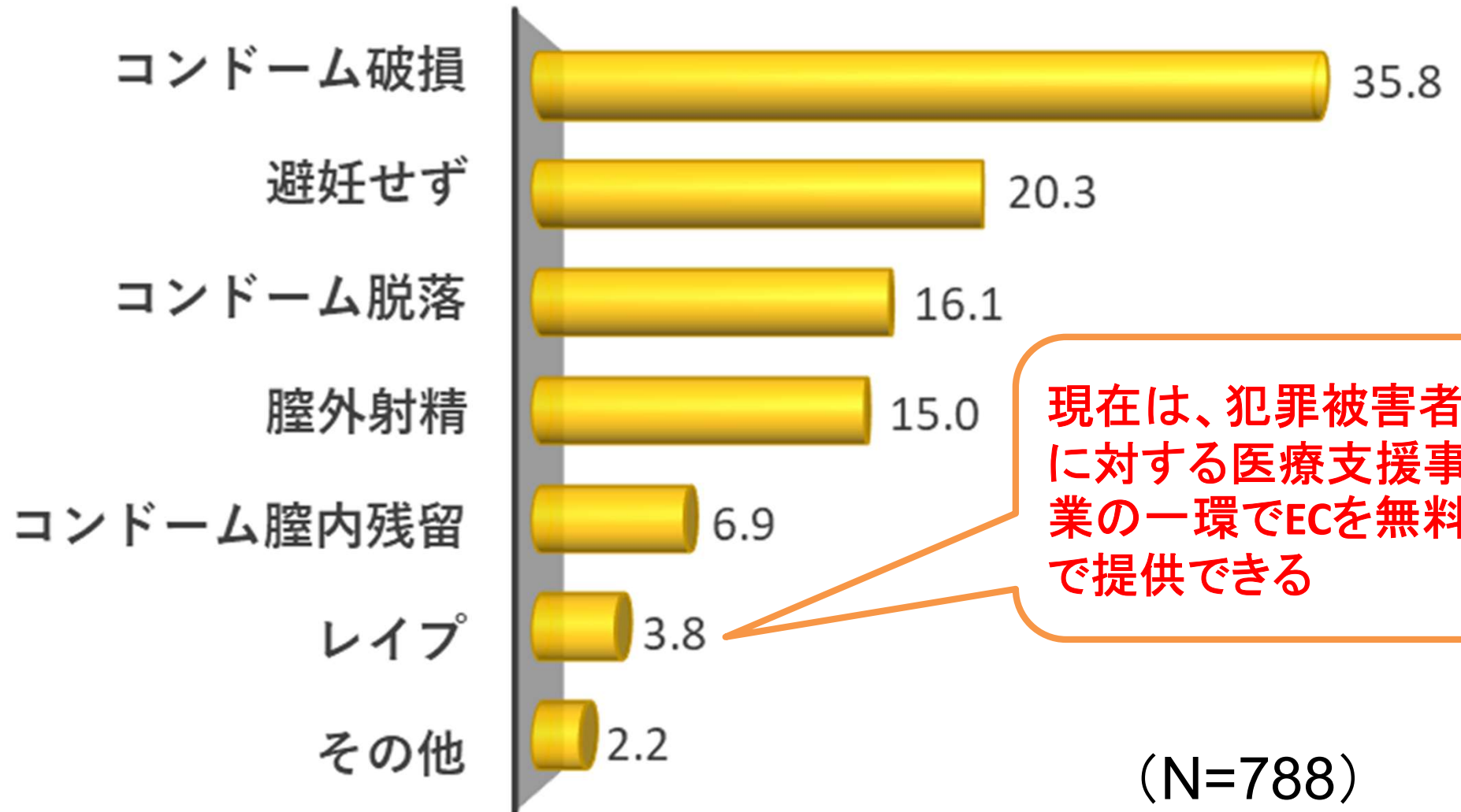
- ・ 偏頭痛、月経偏頭痛、喘息、リウマチ性関節炎、てんかん、過敏性腸症候群
- ・ 喘息者の1/3は、月経時に増悪する。

月経周期数と比例するもの

- ・ 卵巣癌、子宮内膜癌

緊急避妊を必要とした理由(%)

(2001年4月～2011年3月末)



低用量ピル(OC)のメリット(副効用)

月経周期が
正しくなる

女性ホルモンの働きの向上

月経困難症や月経前
症候群が改善される

生活の質の向上

月経量が少なくなる

貧血の改善

ニキビが改善される

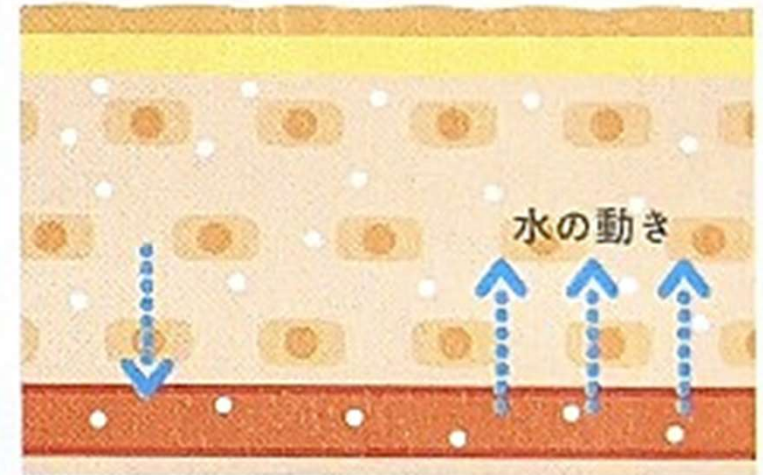
肌がきれいになる

むくみが生じる仕組み

通常



むくんでいる時



血液や、細胞の間にある間質液のナトリウム濃度を一定にするために、ナトリウムが多い時には、水分を血液から間質液側に引き込み薄めようとして「むくみ」が生まれる。

※むくみが生じるメカニズムは他にもある

よく見られる性感染症

性感染症とその病原体

分類	病原体
細菌	梅毒トレポネーマ
	リン菌
クラミジア	クラミジア・トラコマティス
ウイルス	単純ヘルペスウイルス
	HPV(ヒトパピローマウイルス)
	B型肝炎ウイルス
	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)
原虫	膾トリコモナス
寄生虫	毛ジラミ

梅毒

- 原因：梅毒トレポネーマによる全身性感染症（潜伏期3～6週間）
- 臨床所見
 - 第1期
約3週間の潜伏期の後、外性器の感染部位に小さな無痛性の丘疹（初期硬結）が出現。
すぐに腫瘍化し、その周囲と底部は硬くなる（硬性下疳）。
 - 第2期
腫瘍が治癒した約6週間後に患者は発熱と頭痛、食欲低下をきたす。
掻痒感のない不連続性の直径5～10mmの発疹（バラ疹）が手掌や足底を含む全身に生じる。
 - 第3期
心血管梅毒では、大動脈炎、大動脈弁逆流症、大動脈瘤をきたすこともある。
- この20年で、20代女性を中心に1万人を超える増加。

HIV感染症

- 原因：ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による感染症
70%は男性の同性間接触による。
- 病態
HIVがCD4陽性Tリンパ球やマクロファージに感染した結果、免疫システムが徐々に破壊される。
あるレベル以下にCD4陽性細胞が減少すると、日和見感染や悪性腫瘍に進行する。
- 予後
2020年のHIV感染者は750人で、大半は日本国籍男性であり、2018年から1000件を下回っている。

AIDS(後天性免疫不全症候群)

- 病態

HIVが**Tリンパ球**や**マクロファージ**に感染した結果、免疫システムが徐々に破壊される疾患。

約10年たって、CD4陽性細胞が減少すると、**日和見感染**や**悪性腫瘍**に進行する。

- 日和見感染 (70%)

- ① **ニューモシスチス肺炎**

- ② **カンジダ症**

- ③ **サイトメガロウイルス症**

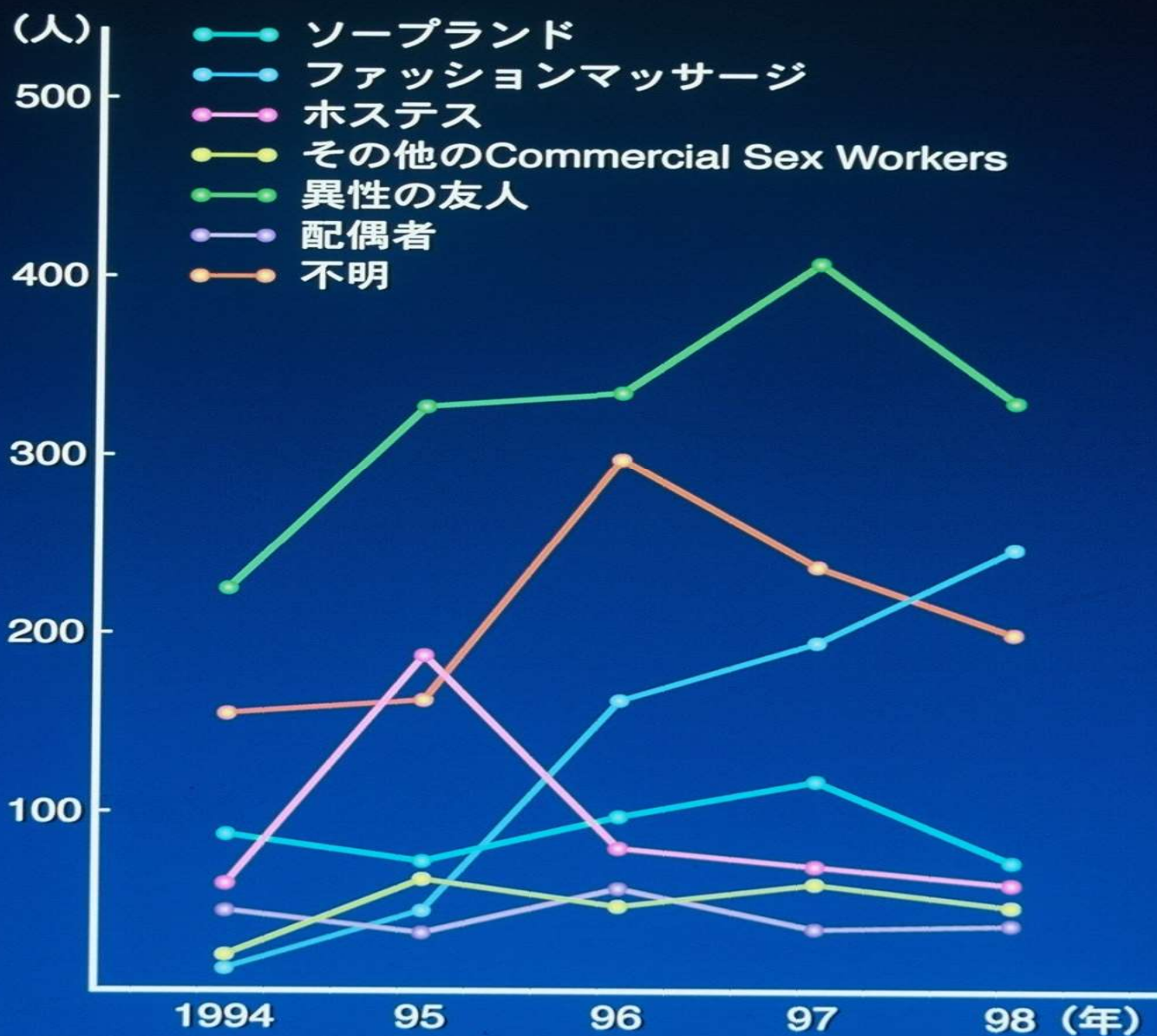
- AIDSも2013年から**減少**している。

- 細胞性免疫の担当

- ① **Tリンパ球 (キラーT細胞)**

- ② **マクロファージ**

感染源別年次推移(男性例)



クラミジアの感染経路

男性

女性

新生児

- 不妊症・子宮外妊娠(卵管妊娠)の原因
- 流産・早産の原因

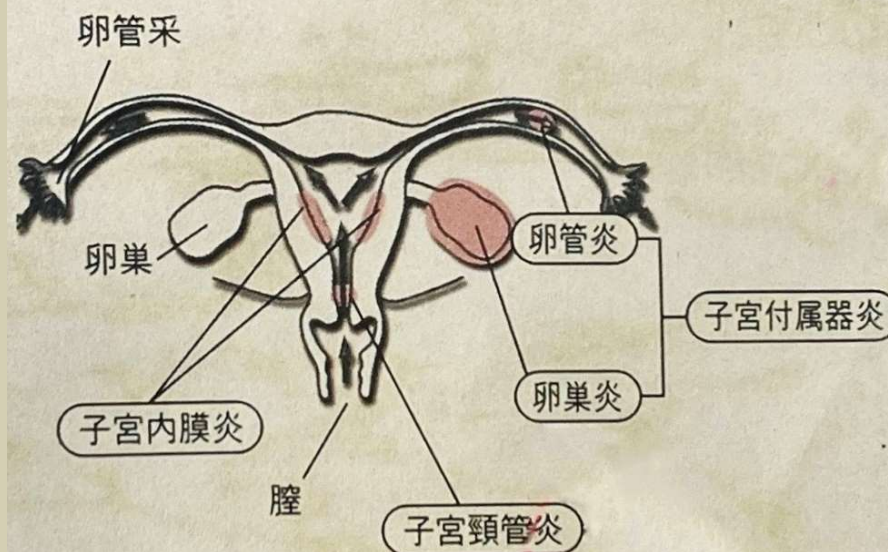
感染

産道感染

精巣上体炎

前立腺炎

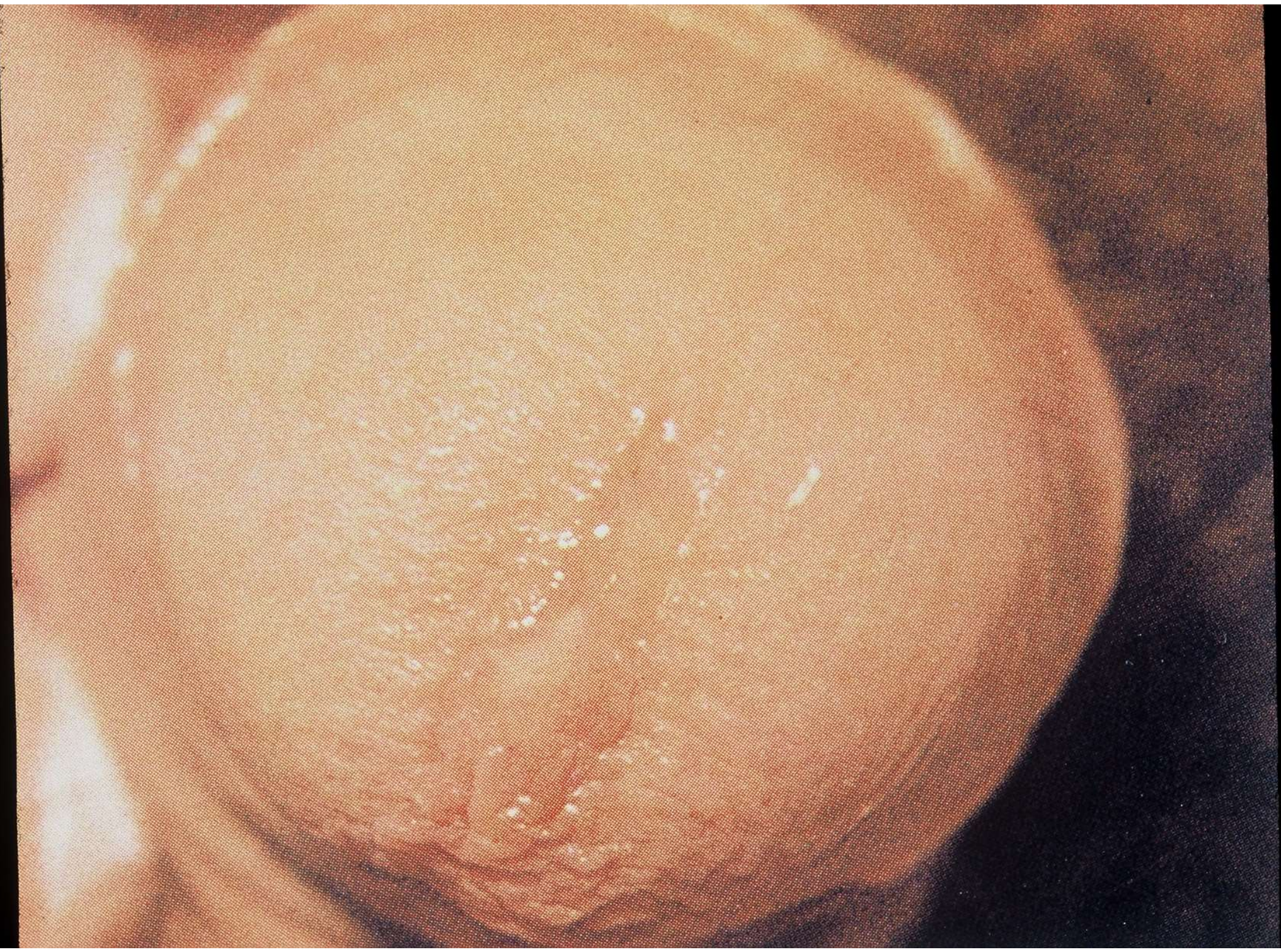
尿道炎



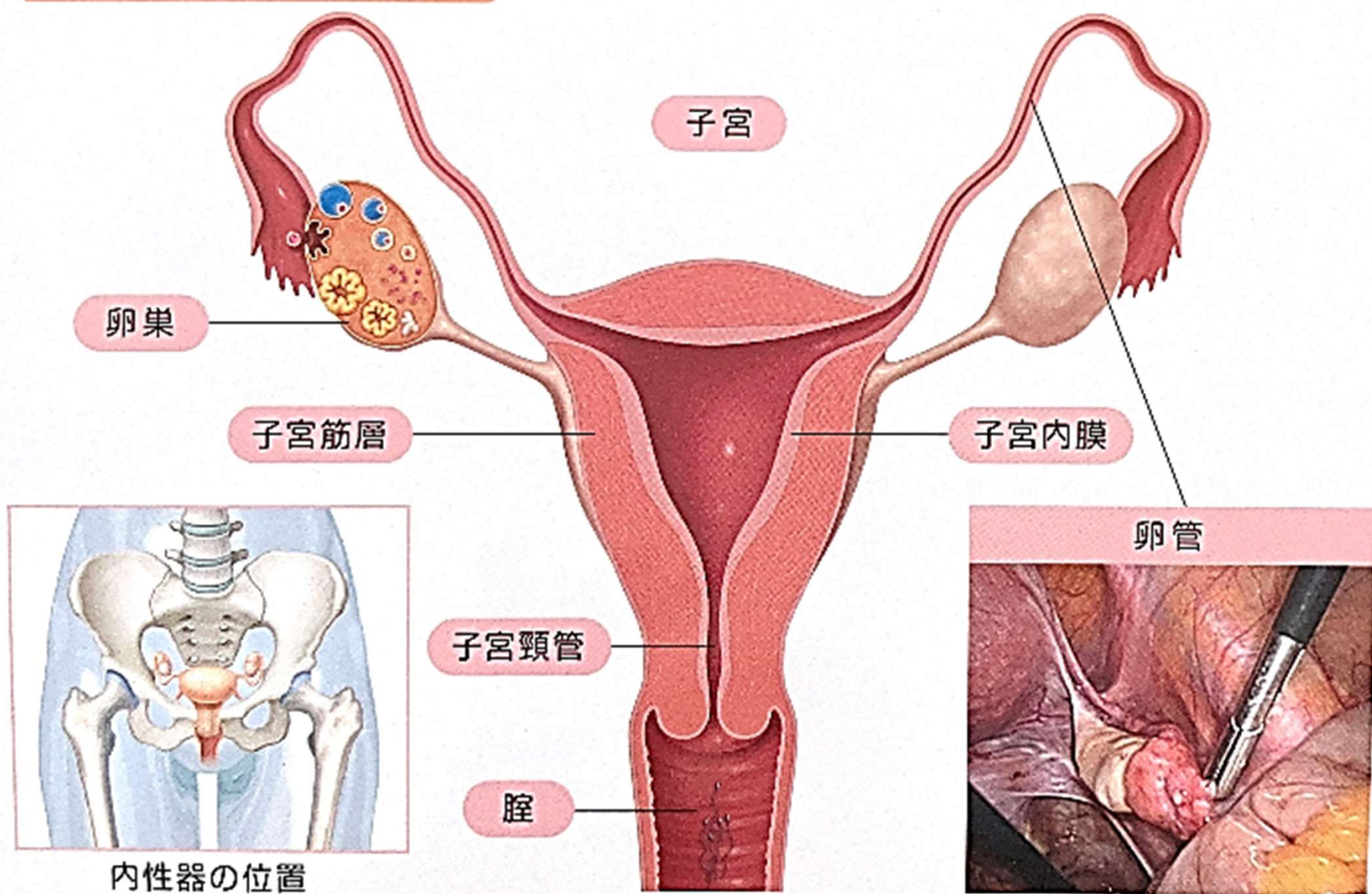
結膜炎

咽頭炎

肺炎



からだのしくみ



咽頭感染

- オーラルセックスにより、咽頭にクラミジアや淋菌が感染することがある。
- 女性では性器クラミジアと約20～30%が併発している。
- 慢性の扁桃腺炎や咽頭炎のうちセフェム系抗生剤に反応しない1/3がクラミジア性である。
- 治療は性器感染より時間がかかる。

HPV(ヒトパピローマウイルス低リスク型)と 尖圭コンジローマ

- 患者からパートナーへの感染による発症率は75%以上
- 40%程度までは自然に寛解する
- 治療には疼痛と恥じらいを伴う
- 再発率は非常に高い



Images top left and top right: Reprinted with permission from NZ DermNet (www.dermnetnz.org)

尖圭コンジローマの治療

外科的療法

外科的切除

電気凝固

冷凍療法

レーザー光線

薬物療法

ポドフィリン療法

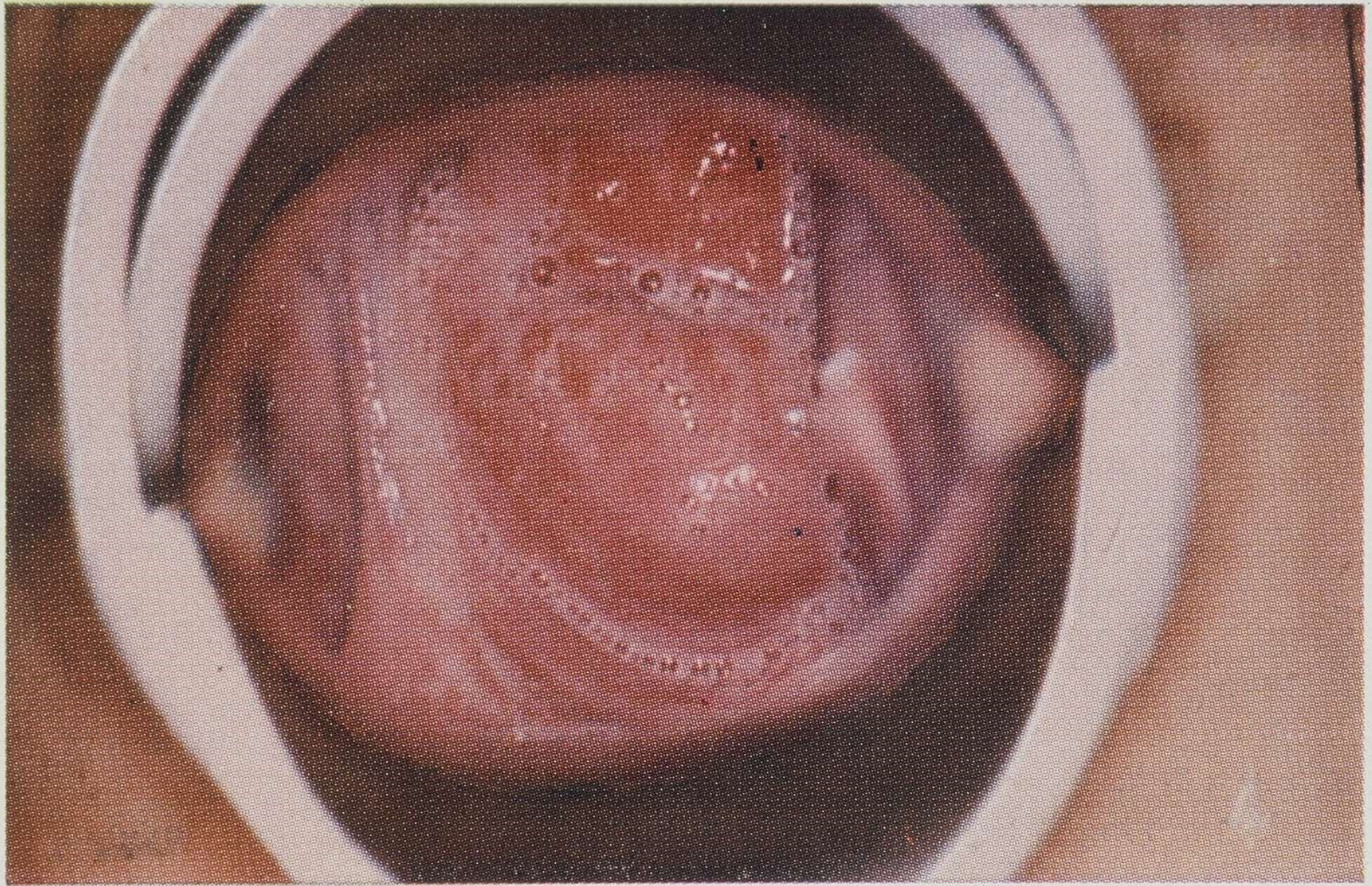
5-FU軟膏療法

ブレオマイシン

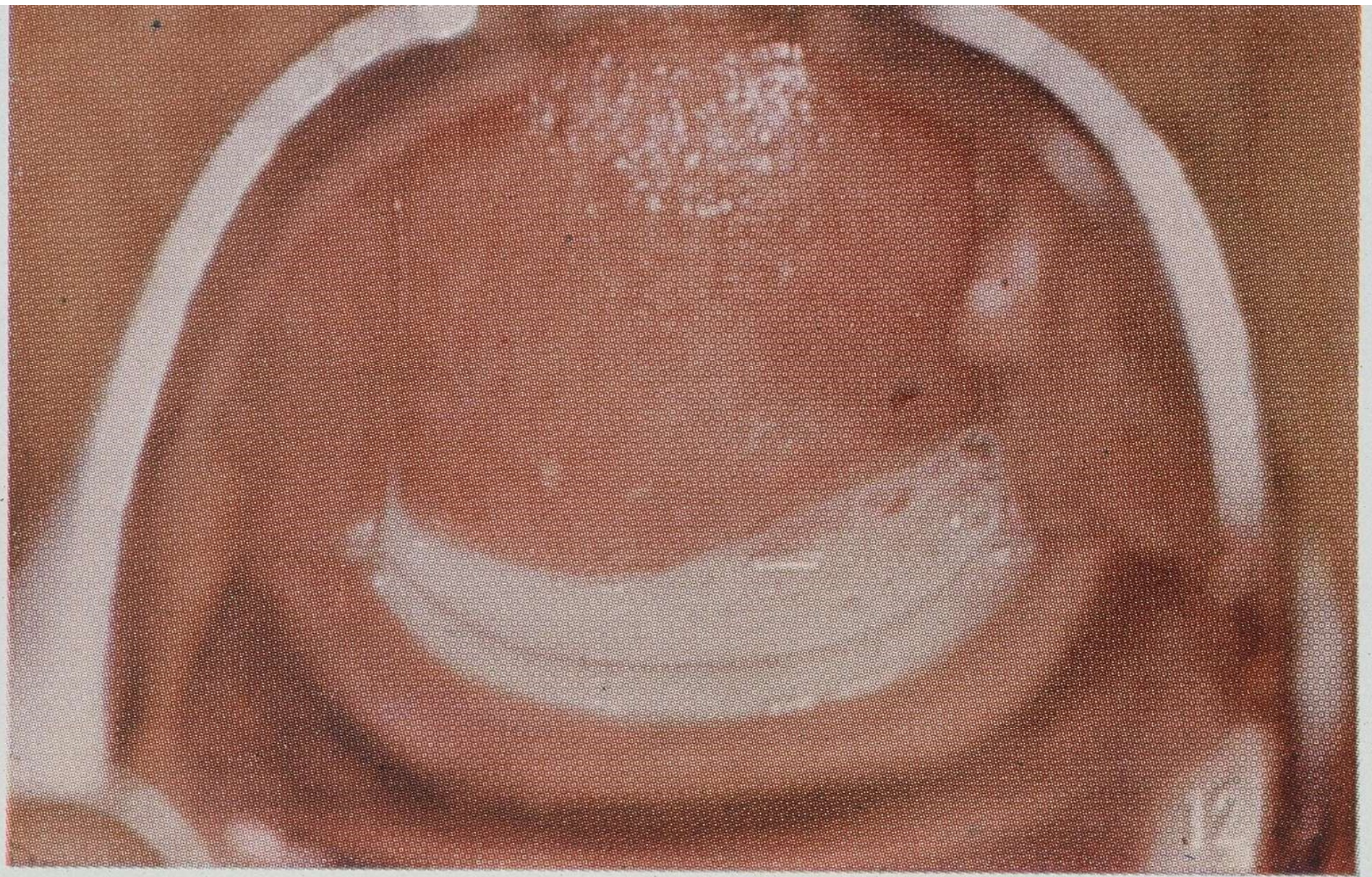
インターフェロン療法







A. Trichomonas 膣炎の膣内の肉眼的所見
子宮膣部表面は乳白色，泡沫性，漿液性膣内容にて覆われ，臭気
は果熟臭である。



挿図 52 a. Trichomonas 膣炎の膣内の臨床所見（膣洗滌前）
膣内には汚穢色クリーム状，一部泡沫性の膣内容
が貯溜し，悪臭を放つ，膣壁は充血を示す。

性感染症の重要点

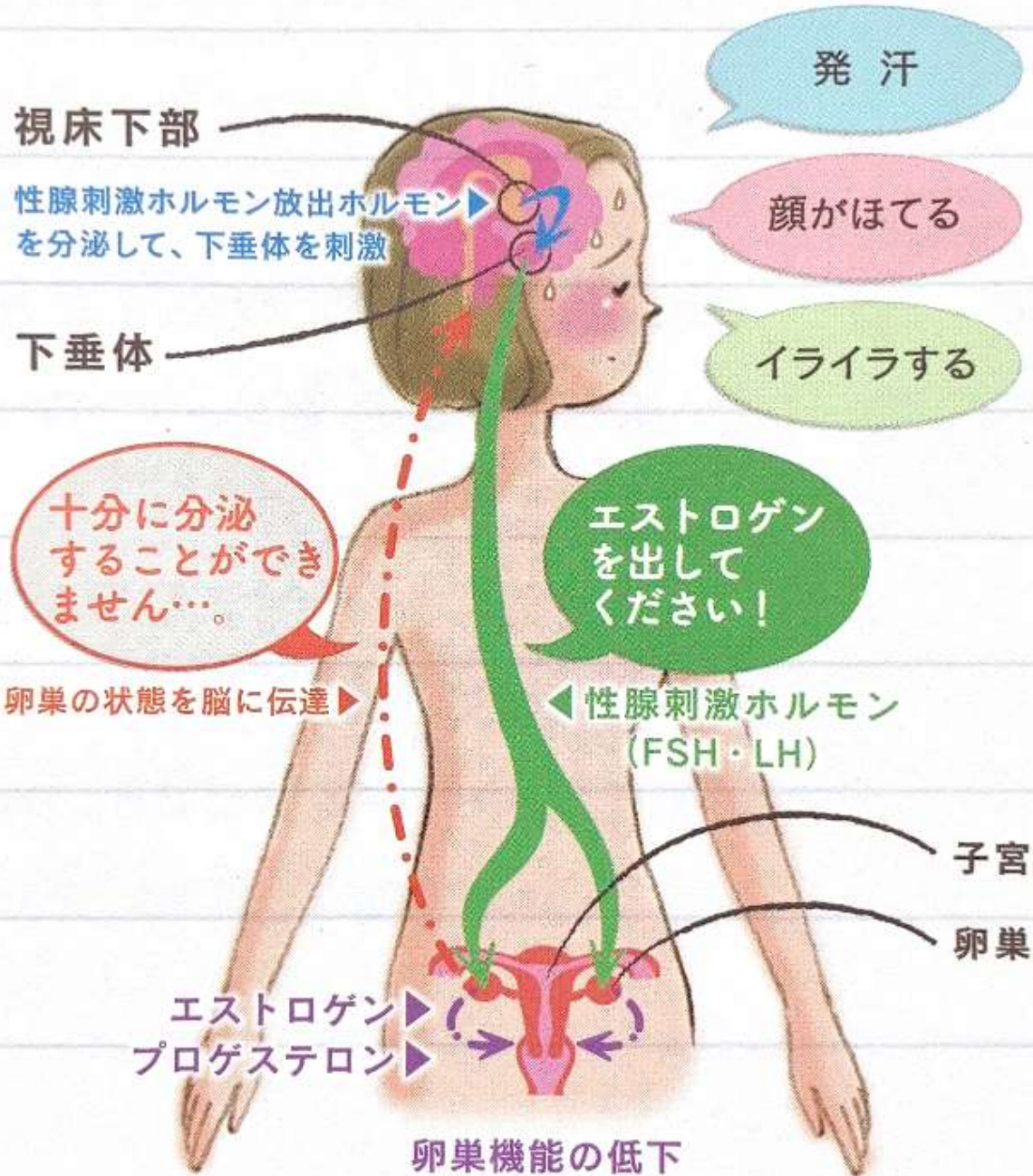
1. 医学的現実的な知識
2. 「性」の否定やパートナー数の制限だけでは無意味
3. STDはOC(ピル)とは無関係
4. コンドームは万能に非ず
5. 早めのレディースクリニックでの検査が必須

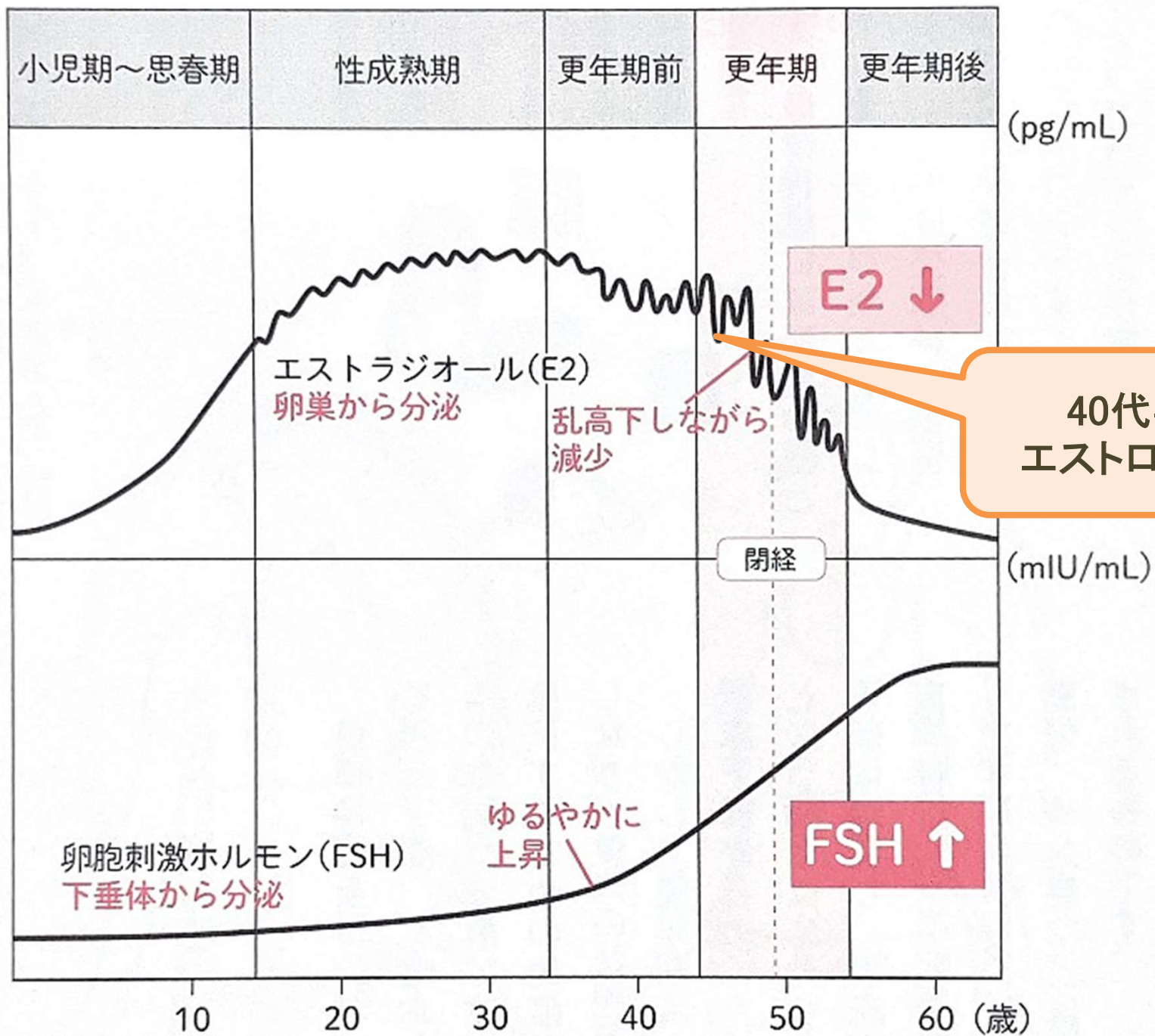
更年期について

女性のホルモン環境

- 卵巣機能の低下・特に40歳前後の排卵の有無
→ **プレ更年期**（38歳～45歳）
- 卵巣の臓器としての平均寿命（45歳～48歳）
→ **更年期**（45歳～55歳）以後
 - 動脈硬化（高LDLコレステロール血症による）
→ 心筋梗塞・脳梗塞
 - アルツハイマー型認知症
 - 骨粗しょう症
- 女性の平均寿命（88歳）
- 女性ホルモン（エストロゲン）の補充

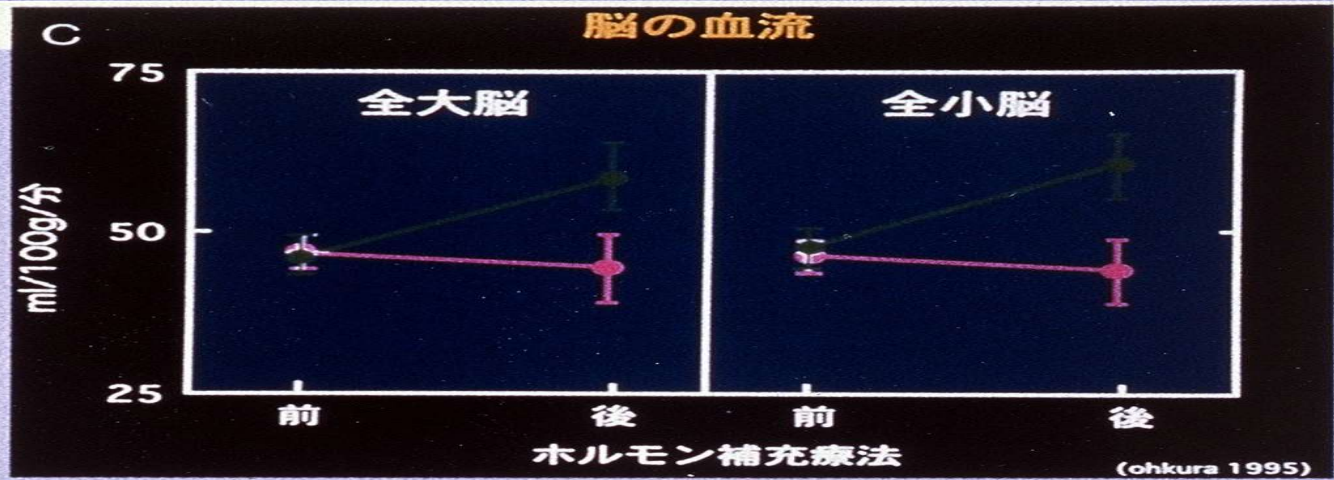
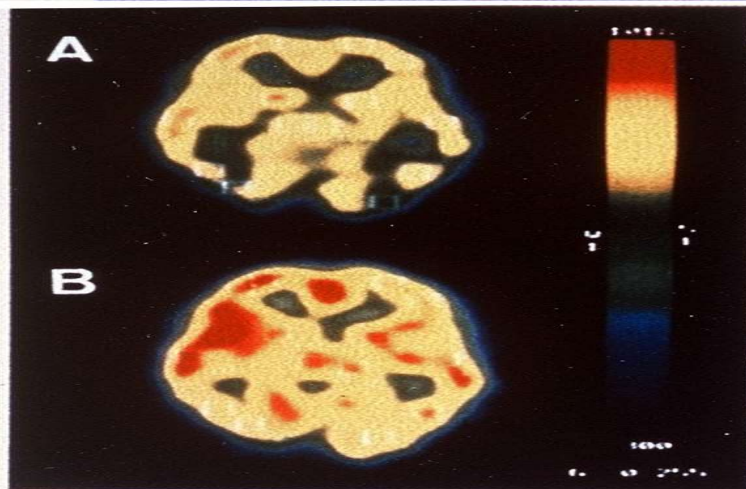
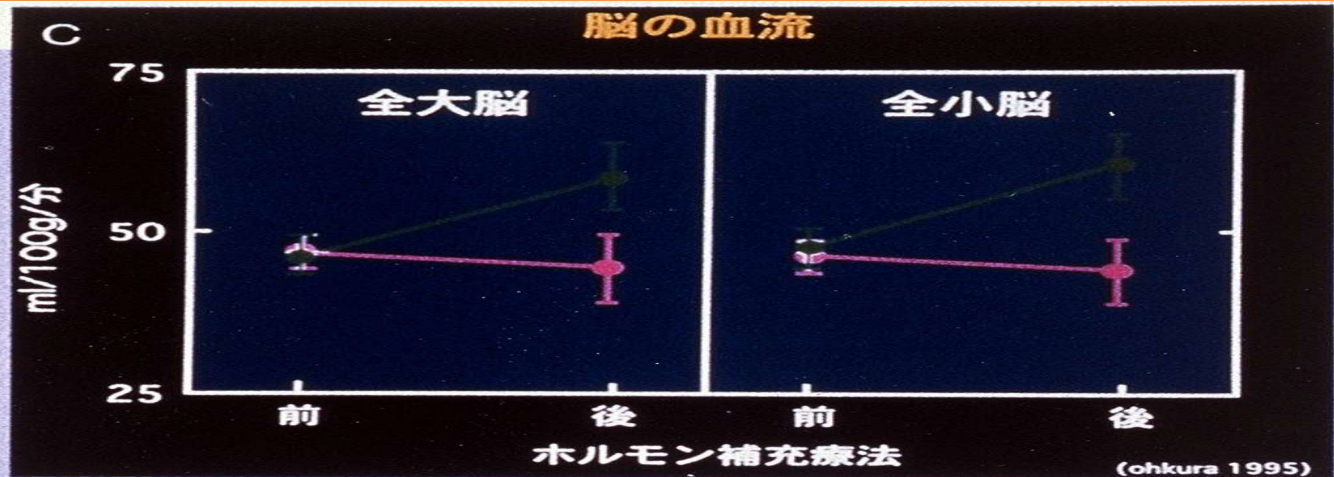
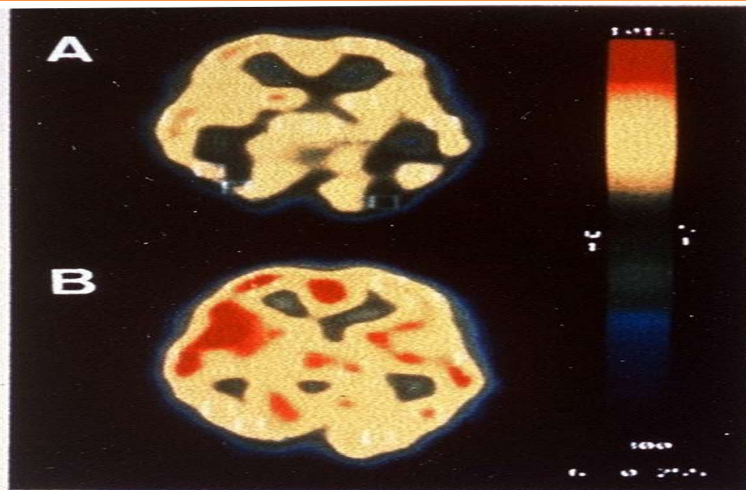
■更年期では…





40代半ばに
エストロゲン急減

閉経後女性の脳の血流



あなたの更年期をチェック

症状	強	中	弱	無	点数
顔がほてる	10	6	3	0	
汗をかきやすい	10	6	3	0	
腰や手足が冷えやすい	14	9	5	0	
息切れ、動悸がする	12	8	4	0	
寝つきが悪い、眠りが浅い	14	9	5	0	
怒りやすい、イライラする	12	8	4	0	
くよくよしたり、憂うつになる	7	5	3	0	
頭痛、めまい、吐き気がよくある	7	5	3	0	
疲れやすい	7	4	2	0	
肩こり、腰痛、手足の痛みがある	7	5	3	0	

○を付けて合計点を出し、自己判断
してみましょう。
症状がどれか一つでも強くあれば、
強に○をつけてください。

0~25 : 異常なし

26~50 : 食事、運動に注意を

51~65 : 更年期・閉経外来を
受診すべし

66~80 : 長期にわたる計画的な
治療が必要

81~100 : 各科の精密検査に基づいた
長期の計画的な治療が必要

※このテストで異常がなくても、骨
粗しょう症や動脈硬化などが隠れて
いることがある。

更年期障害の症状

血管運動 神経系 の症状

ホットフラッシュ
(のぼせ・ほてり)、
動機、息切れ、発汗など

精神 神経系 の症状

頭痛、めまい、イライラ、うつ、
疲労感、倦怠感、不眠など

筋・ 骨格器系 の症状

肩こり、腰痛、
背中痛み、関節痛、
しびれなど

消化器系 の症状

食欲不振、吐き気、
胃もたれなど

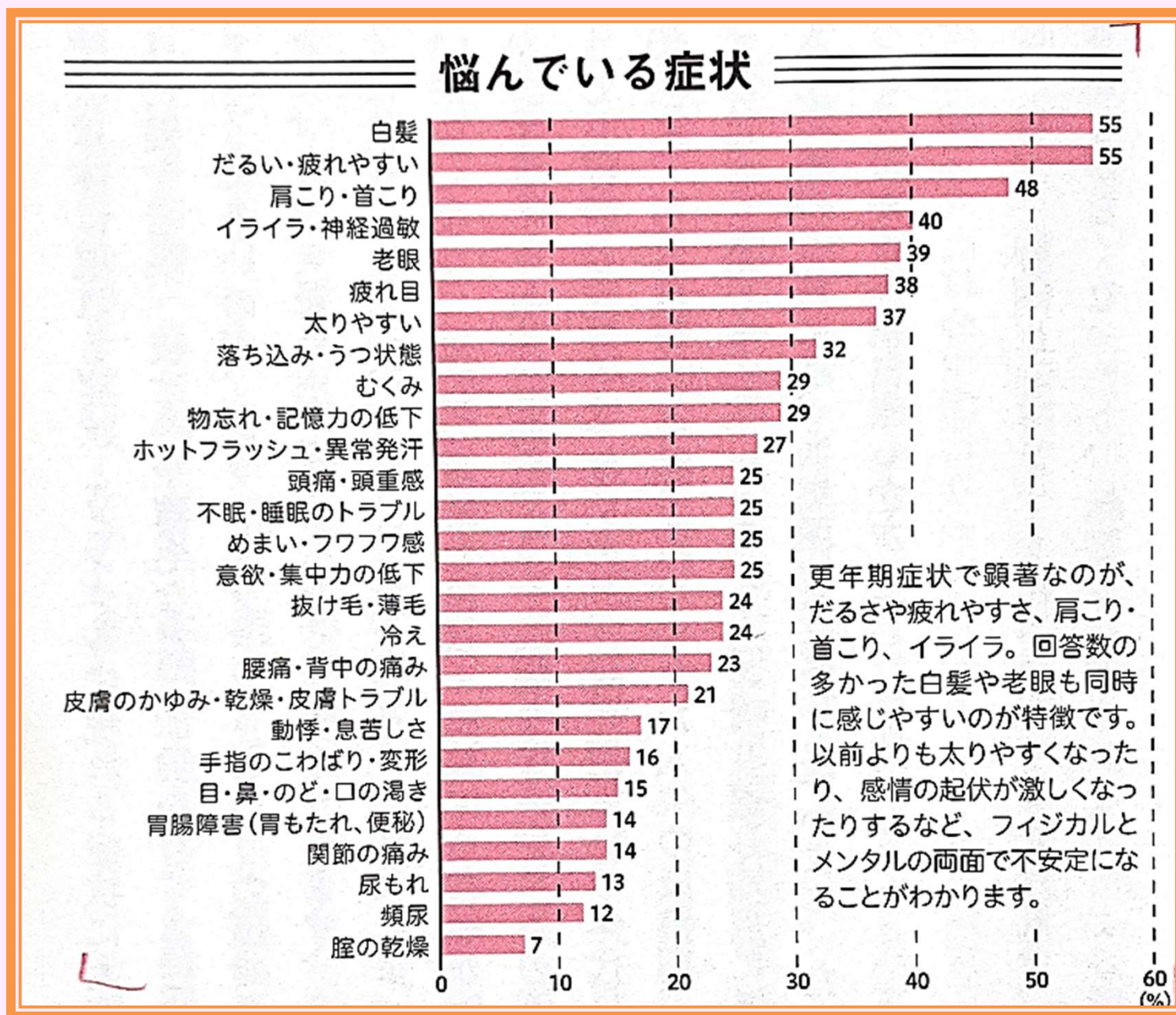
皮膚・ 分泌系 の症状

皮膚や粘膜の乾燥や
かゆみ、のどの渇きなど

泌尿器 生殖器系 の症状

月経異常、尿失禁、
性交痛など

おもな更年期の不調 (2021年アンケート(280人))

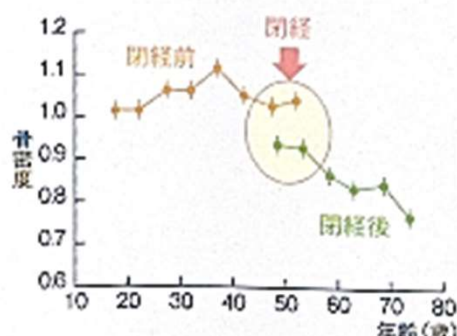


骨粗しょう症とは、骨強度が減少し骨折の危険性が高まった状態のことをいいます。エストロゲン欠乏により骨密度は著しく減少し、骨質が劣化します。

$$\text{骨強度} = \text{骨密度} + \text{骨質}$$

骨密度が減少すると、骨が弱くなります。

●閉経前と閉経後の骨密度の変化



Sole M et al. J Bone Miner Res 6(2): 163-169(1991)

高齢者で骨折が起こると、寝たきりになることが多く、経過が悪い場合は、そのまま死にいたることがあるといわれています。



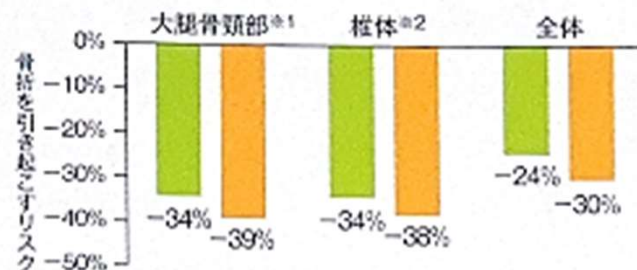
～HRTを行った場合、30%以上の骨折を防止します～

HRTは、あらゆる部位の骨、あらゆる年齢層において骨粗しょう症による骨折を抑制します。

●HRTの骨折防止効果

- エストロゲン+黄体ホルモン併用
- エストロゲン単独

※1 大腿骨頸部：足の付け根の骨
 ※2 椎体：脊椎中央部分の骨



Writing Group for the Women's Health Initiative Investigators. JAMA 289:2561-2572(2003)
 Writing Group for the Women's Health Initiative Investigators. JAMA 291:101-112(2004)

婦人科のがん

乳がん

に詳しくなろう！

女性のがんの罹患全体の約20%を占める乳がんは、胸のセルフチェックで早期発見が可能ながんです。胸のしこりなどの違和感を感じたら、すぐに婦人科・乳腺外来に行きましょう。



知って
おくべき！

「乳がん」のポイント

- 40～50歳代でピークを迎えます。
- 年間約92,000人*が乳がんと診断されます。
- 閉経後の女性に多く、女性ホルモンが影響していると言われています。
- 早期に治療すれば約90%が治る可能性がある“がん”と言われています。
- セルフチェックを怠らず、**検診**を定期的に受けましょう。

早期発見のポイントは、セルフチェックと乳がん検診！

20代・30代

- ・セルフチェック（月1回）
- ・かかりつけ医を見つけて定期的な超音波検査も考慮

40代以上

- ・セルフチェック（月1回）
- ・定期的なマンモグラフィ検査（少なくとも2年に1回）
- ・かかりつけ医の判断で超音波検査

乳がん検診…どこで受けられるのか ご存知ですか？

乳がん検診は婦人科や乳腺外科で受けられます。

山口レディスクリニックでは、エラストグラフィ法（組織弾性映像法）を用いた超音波検査（エコー検査）を行っています。
すべて女性技師が行います。

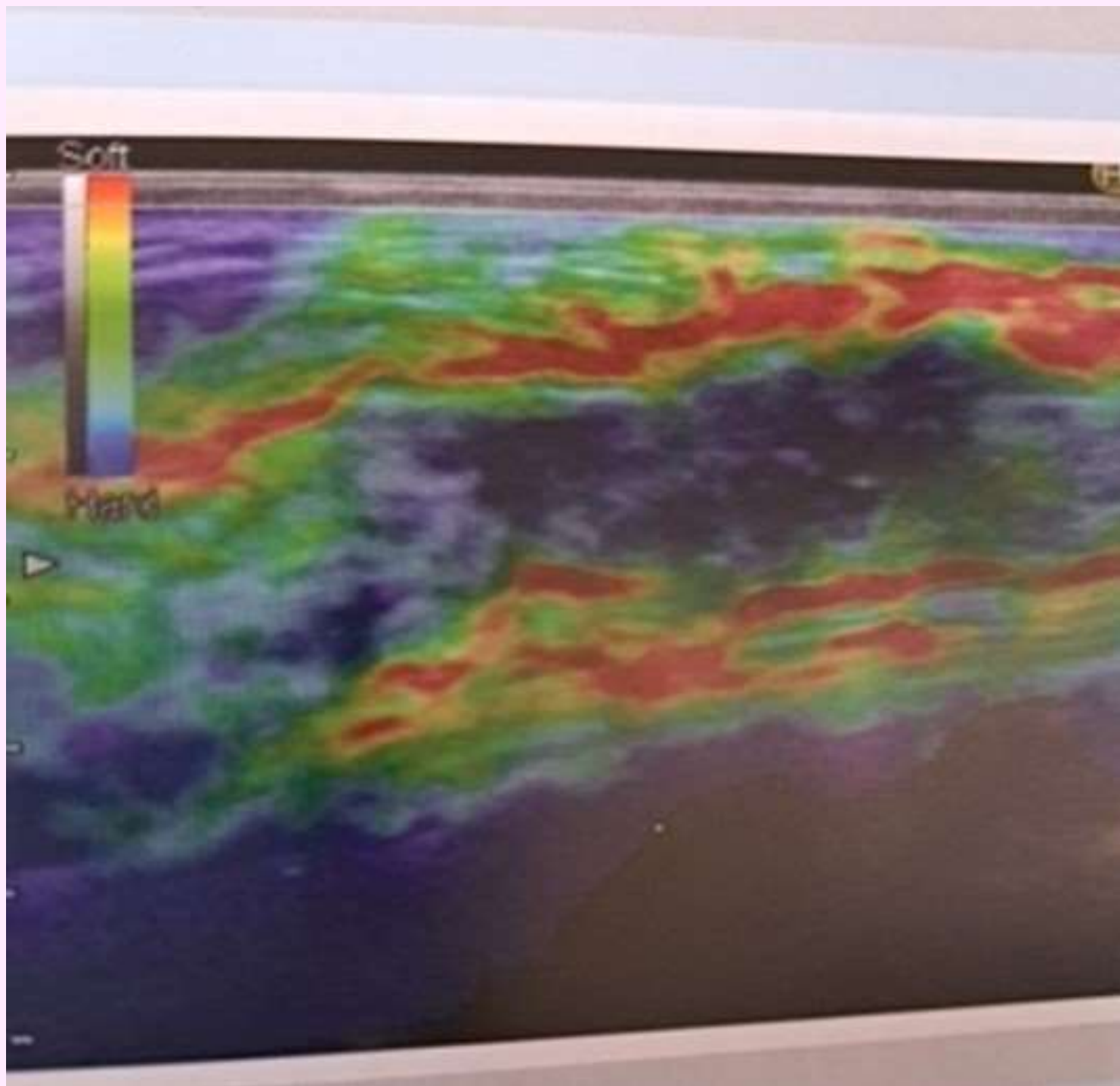




d



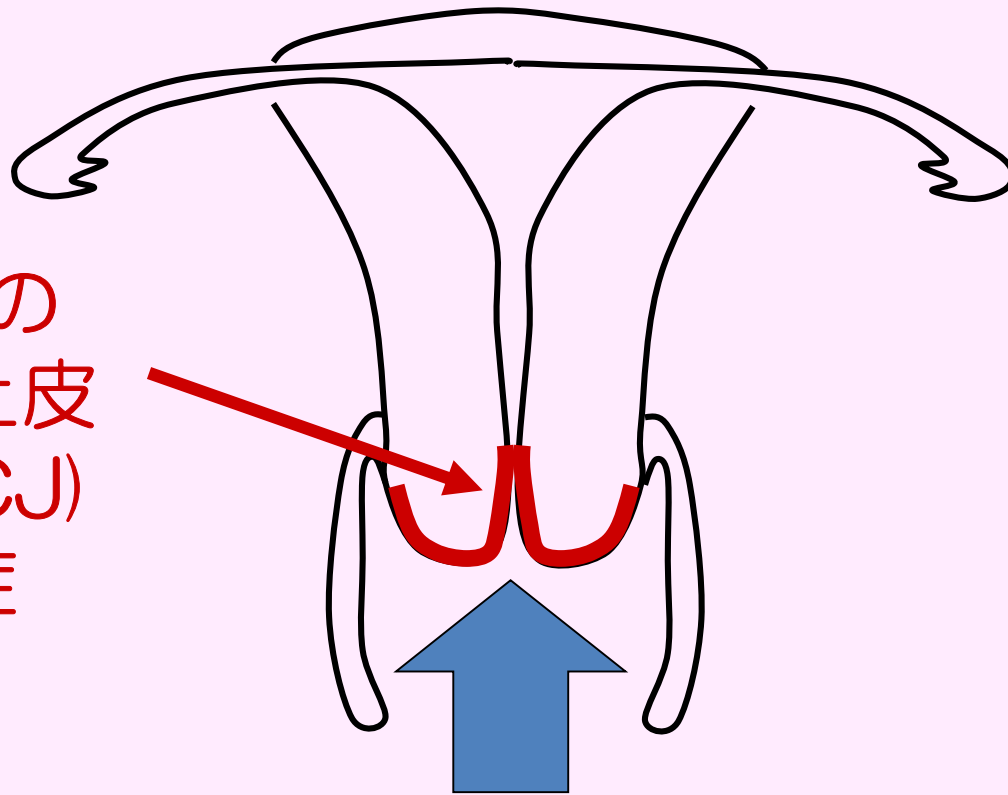




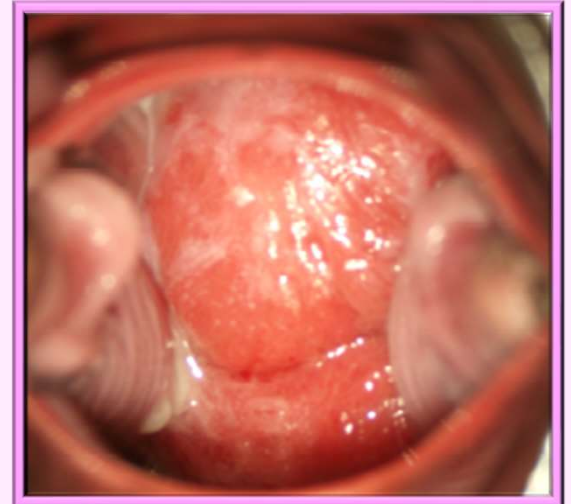
子宮頸がんとは

＜原因＞ HPV(ヒトパピローマウイルス)ハイリスク型

子宮頸部の
扁平円柱上皮
境界部(SCJ)
から発症



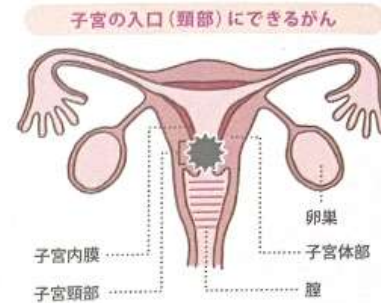
コルポスコピー



- 下（腔）からのアプローチが簡単
- 直接病変をみることが出来る

子宮頸がんを予防しよう!

HPV(ヒトパピローマウイルス)の持続感染がきっかけで、前がん病変を経て発症します。長い年月をかけて進行するので、検診で前がん病変や早期(上皮内がん)の段階で見つけることが大切です。



知って
おくべき!

「子宮頸がん」のポイント

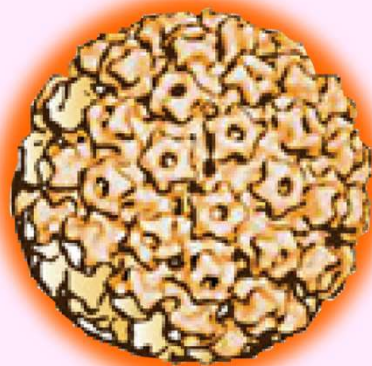
- 初期には自覚症状はほとんどありません。
- 子宮頸がんの原因は、ハイリスク型HPV(ヒトパピローマウイルス)の持続感染です。
- 30～45歳に最も多いがんですが、最近では20～30代女性に増えています。
- 予防ワクチンの接種とその後の定期的な子宮頸がん検診の受診が大切です。
- 早期の発見であれば、治る可能性が高いです。

日本では約11,000人*が子宮頸がんになり、約2,800人*が亡くなっています。

HPV(ヒトパピローマウイルス)

- HPVは非常に一般的なウイルスで、性交渉の経験がある女性の約80%が一度は感染するといわれています。感染しただけでは自覚症状はありません。

ヒトパピローマウイルス(HPV)には
100種類以上の「型」があります。



Human Papillomavirus
ヒトパピローマウイルス

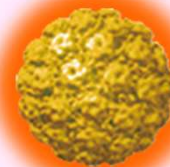


がんを引き起こす可能性がある
ヒトパピローマウイルス(HPV)

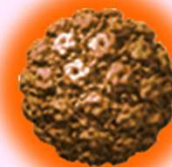
高リスク型

15種類程度

子宮頸がんの原因となるHPVの代表



HPV 16 型



HPV 18 型

HPVによって引き起こされる病気

高リスク型



子宮頸がん

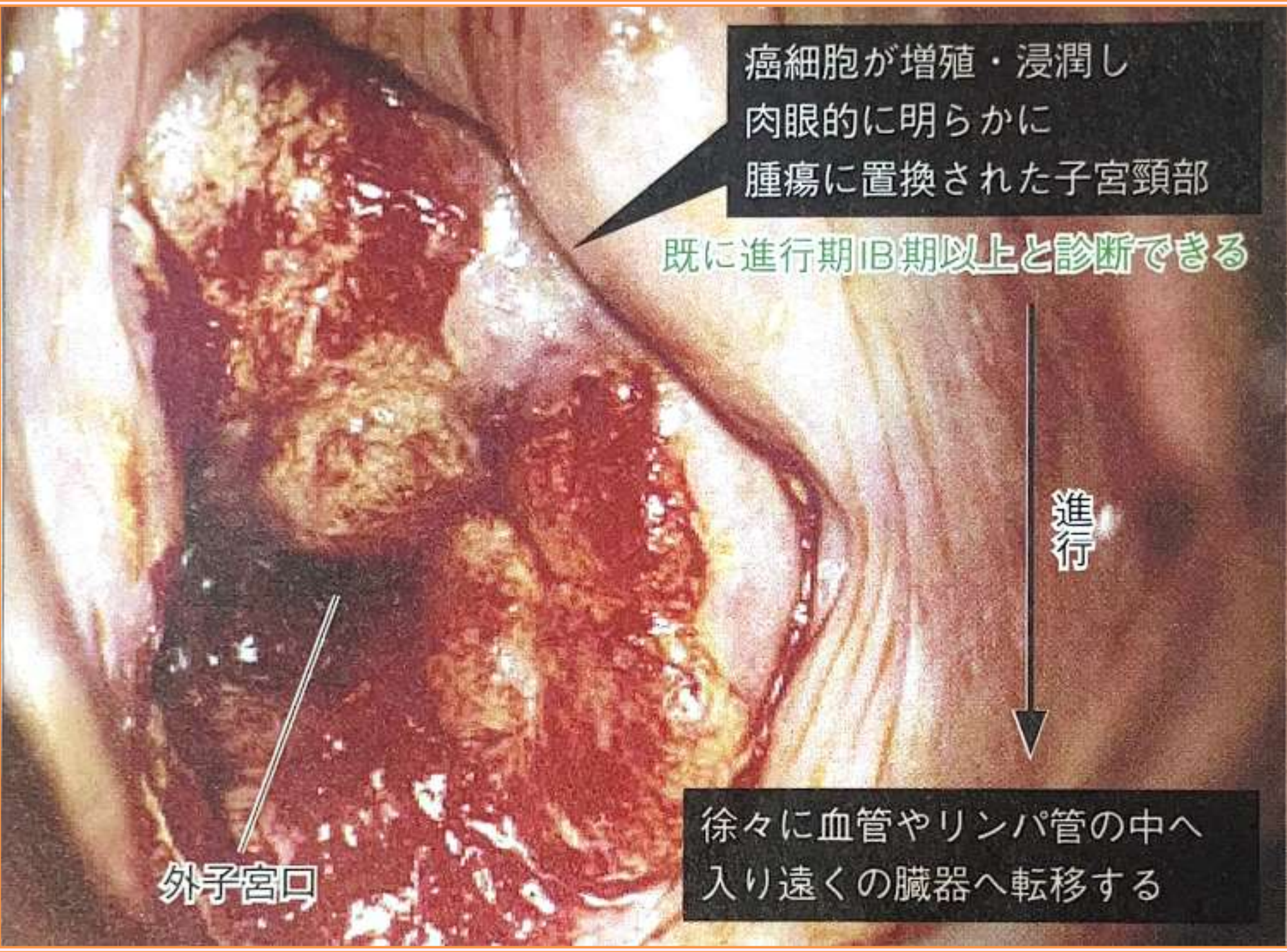
外陰上皮内腫瘍

膣上皮内腫瘍

低リスク型



尖圭コンジローマ



癌細胞が増殖・浸潤し
肉眼的に明らかに
腫瘍に置換された子宮頸部

既に進行期IB期以上と診断できる

進行

外子宮口

徐々に血管やリンパ管の中へ
入り遠くの臓器へ転移する

子宮体がん

子宮体部（内膜）に発生するがんです。現在は、子宮がんの約50～60%を占めると言われています。不正出血があったら、なるべく早く婦人科を受診しましょう。



知って
おくべき!

「子宮体がん」のポイント

- 40代後半～60代でかかる頻度が高く、年間約17,000人*が診断されます。
- 子宮内膜から発生するので子宮内膜がんとも呼ばれています。
- 肥満・不妊・高血圧・他婦人科系疾患のある女性に多いと言われています。
- 女性ホルモンの刺激が長期間続くことが原因になる場合があります。
- 主な症状は生理周期以外の時期に性器出血・おなかの痛みを伴います。



卵巣がんって怖いもの？

子宮の両脇にある卵巣に発生するがんです。初期段階では、ほとんど自覚症状が無く、症状が現れたときにはすでにがんが進行していることがあります。



知って
おくべき!

「卵巣がん」のポイント

- 初期の段階では自覚症状はほとんどありません。
- 40代から増加し、60代でピークを迎えます。
- 年間約13,000人*が診断されますが、死亡率が高いがんです。
- 食生活の欧米化に伴い、増加傾向にあります。
- 下腹部のしこり・急なおなかの張りや、痛み等の症状が現れます。

卵巣がんが疑われたときに受ける検査

・血液検査 ・画像検査(超音波検査など)





▼腹腔鏡のシステム

炭酸ガスを充満させるか
または吊り上げによって
腹壁を挙上させる

